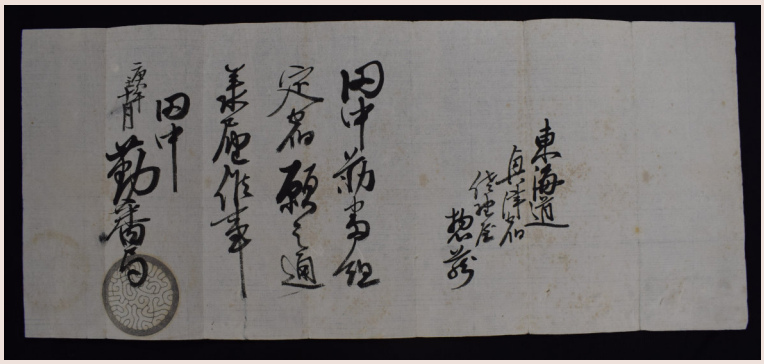
2026 古文書展

興津宿における旅籠屋の社会的機能
―佐野家文書の分析から―



田中勤番組の定宿に関する明治３年の覚



過去の古文書展の様子

静岡大学のキャンパスフェスタにて、第５４回古文書展「興津宿における旅籠屋の社会的機能―佐野家文書の分析から―」を開催する運びとなりました。古文書読解を通じた大学生たちの共同研究の成果であり、今年度も静岡市観光文化・市民局歴史文化課の後援のもと展示を開催いたします。

今回の古文書展では、静岡市清水区興津の佐野家に伝来した古文書の読解を試みました。興津宿における旅籠屋の社会的機能に迫ります。

展示では、３つのテーマに注目しました。まず、維新期に各地の藩や公家との間で取り結ばれた「定宿」関係です。つぎに、宿場財政ともリンクしていた飯売女の雇用実態についてです。そして、琉球使節通行時の対応についてです。いずれも学生がわかりやすく解説します。

旅籠をめぐる本展示を通じて、人を泊めるという役割だけでなく、東海道の宿場の実態も理解いただけることでしょう。

大学生による歴史探究のあり方にぜひ触れてみてください。

日時：２０２６年１０月３１日（土）～１１月１日（日）
※静大祭・キャンパスフェスタ期間中になっています。
※両日とも１０：００～１６：００が観覧時間です。

場所：静岡大学人文社会科学部Ｂ棟２０６教室